

日産自動車合唱団のお知らせ(8月号)

演奏会はお客様を前にして、ホールで、練習の時とは異なる環境の中で今迄練習した全てを駆使した表現を求められます。どうでしたか？ 本番は練習の結果にしか過ぎない。次回9月は私達が感じている無伴宗教曲の世界をお客様に共に感じて戴きましょう。

1.練習日程

8月11日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館2F講習室
 25日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館2F講習室
 9月 8日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館2F講習室 「教皇マルチェルス」Kyrie/AgnusDei リハ
 【F50記念演奏会の合同練習】
 9月 7日(土) ~~13:00~17:00~~ ~~場所未定~~ 結局200名を超える場所が取れず 15:30以降使用可の為時間変更
 16:00~20:00 大森ベルポートB館17階(日立社員食堂 第6回 合同練習(ゲネプロ))
 14日(土) 時間未定 墨田トリフォニーホール大ホール F50記念演奏会

2.練習曲

F50記念演奏会日産ステージ演奏曲

G.P.da Palestrinaの「MissaPapaeMarcelli」より Kyrie・AgnusDei I

F50記念演奏会合同ステージ演奏曲:

Carl Orff 作曲 CARMINA BURANA全曲

3. 7/28日練習報告 <http://ensemble-n.com/>

1)ヴォイストレーニング

佐々木先生がレコーディング参加のためヴォイストレーニングはありませんでした。

2)本練習: 目標: Palestrina の Kyrie/AgnusDei の曲理解/暗譜 Gloria/Sanctus の音確認

① G.P.da Palestrina の「MissaPapaeMarcelli」より Kyrie・AgnusDei I (9/14日本番は Kyrie/AgnusDei を暗譜)。
 Sanctusの音確認および曲創り

音取(言葉付け)の段階から曲創りに移っていきましょう。

- ・ P28最初の「Sanctus」の Sa 各パートは何となく入るのではなく意思を持って Sa を発音しましょう。口の形から発せられる響きは？ 響きの方向性は？ 伸ばしている間に口の形は変わらない？ 音程は。ソ Sa になってない？ イメージをもって最初から Sa の音程に行けますか。
- ・ P29~Dominus に言葉が変化します。各パート Do をきっぱりと。但し Dominus を言ったら舞台を他パートの Dominus に譲りましょう。ソプラノ&テナーII → アルト → テナー I → ベース&テナーII の順 聴きましょう
- ・ P30~。また新しい言葉 Pleni sunt 全パート4分音符で表現されていますので「少しバウンドして」細かな音を際立てて表現しましょう。
 Pleni sunt の Ple 唇の破裂音とLの上の歯の裏に舌をつける L 発音。出来る人は Try。
- ・ P31~「Gloria」と言う言葉に変わりました。p表現でも印象的に。Glo 力点はloですがGをハッキリ。アルト&テナーI & バリトンの3パート同時に入りますのでP(ピアノ)の量を考えましょう。
- ・ Gloriaの最後の a 発音は 再三言われていますが GloriA に聞こえてくるので 強調せず Gloriya で。

Hosanna

- ・ 男声(特にテナー)は音取に不安の人もあり？ :大変だと思いますが「輝かしいテナー」に期待です。
- ・ Hosanna はなめらかに歌うのではなく全部バウンドして下さい。でも慌てちゃいけない。
- ・ 最初の頃に比べたら少し整理がつつつつあるかも。慣れましょう。練習しましょう。

Gloria

- ・ ハーモニーを聴かせる章です。Kyrie のポルフォニーのを聴かせる章からの変化を楽しみましょう。最初の Et in はラ・ファ・ド・ファの落ち着いた響き。Benedicimus の Be もド・ラ・ファ・ファと担当は変わっても構成は同じ。
- ・ 従って縦で息を合わせてハーモニーを一つにする作業をします。
- ・ Et in terra Benedicimus Glorificamus Gratias Plopter Deus Domine Jesu Filius どれも同じ音符で縦が揃ってます。それぞれのフレーズと同時に 余裕のある人は縦の音の役割も考えてみましょう。
- ・ テナーII : P8 9小節 Laudamuste の細かい音はしっかり音を取ると逆効果。透かして流しましょう。
- ・ P9 の Gratias を一緒に入るため muste のteの切(バリトンは伸ばさない/ベースは休みで他の te のタイミング) 逆に20小節 テナーI とベースのシ音は残る。Propter のレファンで入る他パートの導入役です。

- Quitollis で始まる P12。 ~P13は基本pで流れます。 75 小節 suscipe 辺り depre は少し盛上げあり。
- ソプラノ:Quitollis peccata mundi の Peccata mundi で音色が変わるのは何故?と (我慢して開かない)
- P12 の64小節アルト・テナー II・バリトンのmiserereと66小節のmiserereグループ(S・T I・Br)は対比同量
- P12の 69 小節から新しく Quitollis peccata を始めますから 68 小節nobisでは完結して下さい。
- P13 の 92 小節先導するテナー II「Quoniam」は少々どっばずれても、声が汚くても 景気よく・明るくいこう!
- 全体を通して

mの処理が上手くなると 悪い声も少々の音程も格調高く、「上手く聞こえる」魔法の粉

miserere mundi Dimine deprecationem nostram dexteram Quoniam Cum Sanctus amen

唇を閉じてm 唇を開いたままだとnostran(ネン・ノストラン・テクステラン・クォーニアン)と聞こえてる

- P15のソプラノとテナー IIは 125 小節で先行して men に入りますがテンポで入らないで自分達のmenを創る Kyrie/Agnus Dei の本番に向けての練習

- 暗譜を兼ねて何回か繰返し練習をしました。
- テナー I の出だし(Ky と Ag)はテナー IIも手伝う事になりました。(声質を揃えましょう)
- 音色が不揃いなのは いつも言われている事。響きの方向性
- Cristeのsteのe, com 等のm処理。最後の s を言わないと単語として成立しない等
- 暗譜に意識が夢中ですが他のパートが何を歌ってるか聴く事によって自分の役割を確認、全体像が掴める。
- 私達はもっと出来るはず!

4. 8/11日の練習予定

1) ヴォイストレーニング

佐々木先生のヴォイストレーニングがあります。

「教皇マルチェルス」のミサを綺麗に聴かせられる技術を習得しましょう。

2) 本練習:

G.P.da Palestrinaの「MissaPapaeMarcelli」より Kyrie・Agnus Dei の練習

Kyrie/Agnus Dei は 9/14 日の本番は暗譜で演奏しますので楽譜を放して練習

自分の暗譜を頭でなぞるのではなく パート内の音色をそろえたり 歌い方の粗野な部分を修正 ハモリの役割。息遣い等指揮者と他パートと合わせて日産自動車合唱団の音楽を共有しましょう。

14日の1番目の演奏者として あっと言う間にMissaの世界に誘いましょう。 外の暑さや世俗を忘れて。

Gloria/Sanctus の曲創り

音取の不安な人は 練習レコ または YouTube、CD等で対策して練習で表現が出来る準備をしましょう。 前回言われて事を理解しましょう。 特にmの処理は出来る様になりましょう。 名指しで言われたパート。 余裕のある方はMの処理。他パートとの係わり、構造上の自分のパートの役割を考えてみましょう。

5. F50合同練習関係

① F50記念演奏会練習関係

- 次回合同練習は 9/7 日です。 8月25日の練習で集合時間等連絡が出来ると思います。

② F50記念演奏会 幹事会連絡事項

- 墨田トリフォニー動線確認見学会 8月15日(木)15:00楽屋口集合 どなたか助けてくれる人募集
- 9月14日墨田トリフォニーホール「F50記念演奏会」の打上の件
合唱団合同の打上になります。指揮者、ピアニスト、オケ代表者、(ソリスト?)参加の予定
場所:東武ホテル内レストラン(ビュッフェ) 会費:4000円の予定
詳細連絡の後参加・不参加を取ります(25日頃)。

6.その他

① 来年 11 月 15 日日産合唱団の演奏会 選曲委員会より演奏曲目および曲順が発表されました

1st:教皇マルチェルスのミサ曲 Kyrie Gloria Sanctus Benedictus Agnus Dei I & II (Credo は削除予定)

2st:おらしよ 千原英喜作曲

3st:思い出の曲より

O MagnumMysterium Matona mi acara Shenandoah Oh susanna 荒城の月 浜辺の歌 早春譜
うた 死んだ男の残したものは (アンコール:思い出がいっぱい 別れの歌)

9月楽譜の有無調査の上追加印刷を始めます。 8月のお盆期間に探しておいて下さいね。

揃い次第から随時音取をはじめてゆきます。